

放送日 平成29年11月1日(水)  
担当者 学校給食センター長 鈴木 靖彦

おはようございます。学校給食センターの鈴木です。

現在の給食センターは昭和49年に建設され、小学校8校に対し、教職員分も含め毎日約3,300食の給食を提供しております。また、中学校給食につきましては、広葉中学校と西の里中学校の2か所の調理場から、市内中学校に対し、教職員分も含め毎日約1,900食の給食を提供しております。

自分も含めて、みなさんも何気なく食べてきたと思われる学校給食ですが、実は世界的に見ても評価が高いようで、アメリカの新聞社ワシントンポストでも「日本の学校給食は世界一」と題して好意的に紹介されております。その中で、「日本では給食も教育の一環として考えられている」、「専属の栄養教諭が美味しく栄養バランスの優れた献立を考えている」、「給食は児童生徒自ら配膳し、教室内で同じメニューの食事を取る」、「人件費や施設費を公が負担し、材料費を保護者が負担する等、経費配分が優れている」など、給食内容だけでなくその制度も含めて、紙面上で賞賛しております。

北広島市の小中学校におきましても、今後も継続して美味しく栄養バランスの優れた給食を研究し、提供していくよう努めてまいります。

ごくまれに異物混入してしまうこともございましたが、そのようなことが無いように、現場一同、目視点検や衛生管理を徹底してまいりますので、よろしくお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月2日(木)  
担当者 参事(図書館計画担当) 新谷 良文

おはようございます。教育部図書館計画担当参事の新谷良文です。

3年間ほど、指定管理者として民間による図書館の運営管理を経験してきたので、その間のことを話そうと思っていたのですが、とても喜ばしい速報が入ってきたので、そちらをお知らせしたいと思います。

現在、図書館には知的障がいを持っている若い男性の非常勤職員がいます。とても勤勉で、施設の草取りなどを本当に一生懸命してくれており、来観者の方々からの評判も良い職員です。その彼が、10月28日から愛媛で行われた第17回全国障害者スポーツ大会の25m自由形競泳で優勝、50m自由形競泳で準優勝の快挙を成し遂げ、見事、金メダルと銀メダルを獲得して戻ってきました。

本人念願の全国大会での金メダルです。本当に嬉しい限りで、職員一同で盛大に祝福しました。

これからも、仕事も一生懸命、スポーツも一生懸命の好青年であり続けてほしいと願っています。

それと彼、誰に対しても挨拶がとても丁寧です。これは見習わないと駄目だといつも思っています。

同じ挨拶でも、

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月6日(月)  
担当者 消防本部総務課長 林 正明

おはようございます。消防本部総務課長の林です。

今年の4月から消防本部で勤務しています。いろいろと初めてなことばかりですが、スタッフの皆さんのお蔭で何とかなっています。

さて、消防といえば「赤い消防車」と「白い救急車」ですが、この車両の色というのは法律で定められています。このため、かつては乗用車などの一般の車両にこの色を使用することが規制されていました。

しかし、1960年代初め頃、本田技研工業が4輪自動車の製造・販売に進出するにあたり、赤と白を使わせてもらえるよう、当時の運輸省と何度も折衝等を重ねた末、使用可能となったのです。このことは、本田技研工業の歴史を語るときには外せないエピソードとなっています。

この時、運輸省が色の使用を規制していた理由とは、消防車、救急車など緊急車両の色と紛らわしいからだと言われています。このことについて事の真偽は定かではありませんが、もしこれが事実だとしたら、理由としてはどうなのでしょう。分かるようで分からない、納得できるようで納得できない。規制をする理由としては合理性を欠くものではないかと個人的には感じます。

翻って、私たちの職場においても似たようなことになっていないでしょうか？市民に何かを説明する時に、あいまいな説明、専門用語を多用した説明、合理性を欠くような説明になっていませんか？こいうったことでは市民からの信頼を失いかねません。職員の皆さん、説明は分かりやすく丁寧にということを念頭に置き、そういう姿勢で市民対応しましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月7日(火)  
担当者 予防課長 郷路 忠明

おはようございます。予防課長の郷路です。

私は、この町に生まれ住むこと55年、生粋の北広島っ子で、郷土愛が強い方ではないかと想っています。

予防課は、火災予防を主務とし、予防の観点から市民の安心安全を守っています。具体的には、火災などを発生させないための事前対策等を行っている部署です。

しかし残念ながら、皆さんもニュース等でご存知のとおり、毎日、日本各地で火災が発生し、死傷者も発生しています。

平成28年度の消防白書によると、1日当たり107件の火災が発生し、死者数は4.3人であり、出火率は、1万人に対して3.1件であることから、本市においても、年間18件程度の火災が発生する割合となります。

10月末現在の火災件数は16件であり、昨年の火災件数12件から比べると4件増えており、本市過去10年間平均が約20件となっている状況から、今年は平均値に近い数値になるのでは?とため息をついています。

火災の原因は、ちょっとした不注意によるものが大半であり、昨年12月にありました糸魚川市の火災もその一つであります。鍋に火をつけ、その場を離れたことが原因といわれており、木造住宅の密集地域に加え強風により大規模火災に至り、付近住民に多大な迷惑を掛けました。そのことで、現在、損害賠償等の裁判が起こりそうであるとも聞いています。

皆さんもこの様な事態を招かないためにも、日頃から火の取扱いに注意し、大事な人や財産等を守りましょう。

今一度、日々の生活安全を確認し、幸せな生活を過ごすためにもお願いします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月8日(水)  
担当者 消防2課長 佐々木 幸一

おはようございます。消防署消防2課の佐々木です。

私の現在の仕事は、災害発生時には、直ちに現場へ直行しなければならず、当直管理職が必ず1名居る態勢となることから、今回もこのスピーチを代読していただきますので、ご了承願います。

消防では、皆さんのスピーチを直接聞くことができません。そんな中、私がいいなと思ったお二人のスピーチ内容について、今年3月のある朝、業務打ち合わせの時に読ませていただきました。「リフレッシュすることの大切さ」「職員が一致団結し「チーム北広島」として頑張ってください」「信頼を築くには長い時間を要しますが、信頼が壊れるのは一瞬」などなど、当時の消防にぴったりと当てはまるような内容でもあったからです・・・。

話は変わりますが、今から9年前、職業体験学習で消防署に来ていた、ひとりの中学生が、今年4月に採用され、私たちチームの一員となりました。Y消防士です。彼は、小・中学校の卒業文集で「将来の夢は消防士になること」と書いていたそうです。

その彼の母校である中学校で、9月に避難訓練があり、Y消防士も立会しました。訓練講評のあと、少々時間をいただき、彼から後輩たちへ「自分は夢を叶えることができたこと」「夢を諦めないで持ち続け大切にしてほしいこと」などと、直接メッセージを伝えました。そのあとに行われた消火器訓練では、もう一人、同中学校卒業の先輩消防士が登場し、先生との掛け合いもあって、今までにない和んだ雰囲気での消防訓練となりました。

さて、明日11月9日は、119番の日です！

火事、救急、救助は119番です！

緊急事態ですが、一度深呼吸をし、落ち着いて、イチ(1)イチ(1)キュウ(9)と押してください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月9日(木)  
担当者 救急指令課長 工藤 邦彦

おはようございます。消防署救急指令課の工藤です。

私の業務は、119番の受付や救急業務全般を担当しています。今日は、119番の日です。皆さんご存知ですか？企画課の方の配慮か？運命なのか？朝のスピーチに本日、割り振られたことに驚いています。

さて119番の日は、消防庁が定めたもので全国的に防火、防災について国民に正しい理解を身に付けていただくよう制定したものです。北広島市の119番の受付件数は、毎年4千5百件前後で通報の中には気が動転し、住所を正確に伝えられないケースや甘いものを食べて太ったので如何したらいいか？等、緊急性が低い相談窓口的な通報もあります。受付ける職員は、生死に関わる状況なのかを瞬時に判断し、出動隊へ情報伝達、時には心肺蘇生方等の応急手当をアドバイスすることがあります。このため救急車の要請時にコードレスホンや携帯電話で119番通報することで倒れた方の側で状況を伝え又、消防職員のアドバイスを聞きながら応急手当を実施することが出来ます。このことから皆さんへお願いがあります。電話機のスピーカー機能の使い方を今一度、確認してください。

最後に還暦を目前に迫り先日、嬉しいことがありました。市職員の迅速な連携が功を奏し、市民を救命した事案がありました。通報した職員は、過去の経験から施設内の固定電話ではなく、携帯電話で通報し、役立ったと聞いています。これも長年継続している政策事業の「応急手当普及啓発活動」の成果と確信しています。

今後も職員皆で市民の安心安全のため、救命講習の受講をお願いします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月10日(金)  
担当者 警防課長 本田 高広

おはようございます。消防本部警防課の本田です。

さて、仕事柄私が最近感じていることは、自然災害が多いことで、特に8月から10月にかけて台風などの影響により、ゲリラ豪雨、土砂災害、河川決壊などの被害が全国各地で発生しているところです。

記憶に新しいところでは、昨年台風の影響により北海道の道東、道北などで河川が氾濫し、交通網などに甚大な被害が発生しました。

特に被害が大きかったのは、JR北海道の各路線に土砂流入、架線損傷・切断などが相次いで発生し、道東を中心に路線網が寸断され深刻なダメージを受けたところです。

北広島市においては、昭和56年8月に台風による影響などで、島松川や輪厚川の堤防が決壊し、道路、住宅、農業など被害を受けましたが、それ以降大きな災害は発生しておりません。

しかしながら、大規模な災害はいつどこで起きるかわかりません。

そのためには、消防職員がどんな災害にも対応できるよう訓練を繰り返し実施することで、市民の皆様安心して生活ができるよう日々努力しているところです。

最後に、コミュニケーションの手段として挨拶がありますが、私の中で意識していることは、いつも大きな声で元気に「おはようございます」と挨拶することを心がけています。

それは大きな声を出して挨拶を続けていれば、顔が自然と明るくなることで気持ちが前向きになり一日を始めることができるようになるようになったからです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月13日(月)

担当者 消防署西の里出張所長 後藤 英雄

おはようございます。消防署西の里出張所の後藤です。

消防の仕事で消防訓練に立ち会い訓練実施した後に講評をと防火管理者から頼まれることがあります。

いつも何を言おうか悩んでいた時に東日本大震災の時に避難誘導して一人の死者も出さなかった教師の言葉がインターネットに出ていました。「消防訓練は満点でなければならない」との書き出しで、よく避難訓練の講評で「今日はとてもよくできました。あってはならないことですが万が一ほんとうの地震や火事があったときも今日と同じようにできればいいですね。」といった話をされる方がいますとの内容です

教師は、本当に災害が発生した時に冷静に行動できるのか、実際の火災現場では、誰かがキャーギャーと叫び別の誰かがワーワーと泣きじゃくっているはずで、つまり、訓練の7割もできたら上出来というのが現実でしょう。100点満点の訓練をして実際にはその7割しか達成できなくても、 $100点 \times 0.7 = 70点$ の避難なら一人の子どもを死なせずに逃げることができます。しかし、訓練が70点程度なら現実はその7割の49点。あるべき避難の半分もできないとしたら、誰かが死ぬなり大怪我をするなりということになります。

したがって訓練内容をよく吟味して質の高い訓練を実施することが必要となります。

私たちは、市民から満点となる仕事を求められていることを忘れないで仕事をしていかなければなりません、普段少し手を抜いて仕事をして大丈夫だと思っていれば、いざという時に力が発揮できないことを心掛けてください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月14日(火)

担当者 消防署大曲出張所長 大沼 松太郎

おはようございます。消防署大曲出張所長の大沼です。

昨年のスピーチでは、勤務地である大曲地区の急速な発展についてお話ししましたが、今回は私が暮らしている東部地区の状況についてお話ししたいと思います。

私が広島町職員となったのは昭和54年で、今は姿を消した役場庁舎も当時は結構立派な造りでした。また、役場周辺には地元商店はもとより、飲食店の入ったビルや遊技場があり、それなりに人の出入りもあって広島町の市街中心部として賑わっておりました。しかし、時代の流れというのか、ここ数年来「店」の数がめっきり減って閑散としている印象を受けます。また、新しい市役所庁舎と周辺の景観にギャップを感じているのは私だけでしょうか。自宅周辺の環境も昔と極端に変わってはいませんが、近所にあったコンビニが閉店したことによる不便さが生活に響いております。しかし、東部地区の将来を占うかのような壮大な構想が現れました。それは、ファイターズ球場の移転とボールパーク構想であります。

この構想が実現した場合、候補地である東部地区周辺の景観は一遍し、夢のような都市化の嵐が吹き荒れ、歩いて行ける距離に球場・商業施設・駅等が建設され、生活環境がガラリと変わり、定住人口の増加や地域経済の活性化が十分期待できるものとなるでしょう。

定年を迎える年にこのような大きな夢が実現するか否か、今までに経験したことのない期待感で日々を過ごしております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月15日(水)

担当者 消防1課長 小室 秀治

おはようございます。消防1課長の小室です。

昭和60年に採用され早いもので33年目を迎えてしまいました。消防は採用されると江別市にある北海道消防学校へ約6ヶ月間入校し、全寮制のなか消防というものを一から徹底的に教え込まれます。

当時の寮は、むさ苦しい男たちが1部屋6人で24時間、衣食住を共にする生活でした。また、ハラスメントという言葉も概念もなかった時代でしたので、「やる気があれば何でもできる」そんな「精神論」や「根性論」、そして「かわいがり」といわれるような叱咤激励を受けながら日々訓練に励む毎日でした。

そんな試練を乗り越えた消防学校の卒業生による同期会が、先日20数年ぶりに開催されました。当日は、卒業生の約半数と当時の教官達が全道各地から集まり昔話しに花を咲かせていました。

話題の中心は、なんと言っても地獄のような過酷な訓練の「つらく」、「痛い」思い出です。卒業してから随分と時間は経ってはいるものの、みんな当時のことをある程度覚えているようでしたが、話をしているうち記憶の中にあやふやな部分が出てきたり、抜けている部分があったりして、最後には誰の言っていることが正しいのかさえ分からなくなっていました。

実際、30年以上も前のことなので記憶が曖昧なのは当然なのでしょうが、「絶対に忘れることはない」と思っていた記憶でさえ正確に思い出せないくらいです。

今回、年相応に忘れっぽくなっていると気付かされたのこともあり、今後は初心に立ち返って、小さなことでもしっかりとメモや記録に残しながら仕事をしなくてはいけない、そう再認識させられた同期会でした。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月16日(木)  
担当者 財政課主査 亀山 貴宏

おはようございます。財政課主査の亀山貴宏です。

これまで、管理職のスピーチが続いておりましたが、本日から新任主査職のスピーチとなります。

さて、私は一昨年、平成27年度に財政課に配属となり、これまで2度の予算編成を経験しました。そして、今年4月に財政課の主査となり、早7か月。今年も、いよいよ予算編成の季節がやってまいりました。

先日、平成30年度予算編成方針の説明会を行いました。皆さんご存知のとおり、市の財政は大変厳しい状況にあります。このような中、限られた財源を効果的、効率的に配分するためには、どのような事業にどのようにお金を使うことが、市にとって本当に良いことなのか、それを職員の一人一人が意識していくことが必要だと思います。

予算要求にあたっては、どういう意図で、どういったことに予算措置を必要とするのか、事業の目的を達成するために最も効率的な方法はなにか、また、法令等の制度はどうなっているか、財源の裏付けはあるのか、そういったことを良く検討し、根拠となる資料を揃え、自信を持った予算要求をしていただきたいと思います。

話は変わりますが、業務を行う上で、ワークライフバランスを意識することや、メリハリを付けて仕事を行うということはとても重要なことです。私は、職員が中心となり行っている演劇に、毎年参加させていただいております。今年も12月3日の日曜日に「きたひろ笑劇場2017」公演が花ホールでありますので、お時間のある方は是非ご覧になっていただければと思います。チケットは500円です。

12月3日が演劇の公演、次の日の12月4日が平成30年度当初予算の要求切日となっております。日曜日のコメディ路線から、月曜日のシリアス路線へと、しっかりと切り替えて仕事に臨みたいと思っております。皆さまも、ユーモアを持つところ、真面目に行くところ、状況に合わせてメリハリを付け、仕事とプライベートを両立していきましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月17日(金)

担当者 企画課主査 塚田 友二

おはようございます。企画財政部企画課主査の塚田友二です。

さて、今日は担当業務の一つでもある公共交通のうち、バスについてお話ししたいと思います。突然ですが、みなさん、バスに最後に乗ったのはいつでしょうか。通勤などで利用していない方は、「いつだったかなあ。用事はほとんど車だしな。」などと思うのではないのでしょうか。

少し前の話ですが、大曲地区で会議が開催された際に、市役所から会場までバスを利用しました。車を利用すれば15分ほどで着く距離ですが、バスを利用すると、乗車時間23分、バス停から10分で合計33分かかりました。後から出発した同僚が先に到着しましたが、この時間が自分にとって無駄だったのかと考えたとき、無駄ではないと感じました。当日の会議資料に目を通したり、車内に目をやると子どもから学生、お年寄りまで多世代の方が利用していることがわかったり、窓の外を見れば、自分が運転していれば見るできない普段とは異なる高い位置から中ノ沢の雑木林や輪厚川の水田地帯の風景を眺めたり、新鮮な気持ちで23分間を過ごすことができました。

また、公共交通の利用は健康にもとても良い効果をもたらすそうです。ある研究で15キロ離れた場所に車で行くのと公共交通で行くのでは、車では102kcal、公共交通では220kcalで約2倍のエネルギーがかかり、これはおにぎり1個分に相当します。公共交通を使うだけでおにぎり1個の消費は大きいのではないのでしょうか。

といっても、なかなか、すべて公共交通の利用へ変更することも難しいかと思えます。何日かに1回、ときどきでも利用してみることで、車による移動では得られない新しい発見があるかもしれません。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月20日(月)

担当者 都市計画課主査 相木 洋

おはようございます。都市計画課 相木です。

本日は、北海道日本ハムファイターズのお話をしたいと思います。

今から13年前の平成16年に北海道へ移転を決めた時には、日本ハムまたはリーグ自体が不人気、スター選手不在のため決して歓迎はされなかったかと思えます。移転後は高給な大物スター選手の獲得はせず、地道にスター選手を育て、また地域に根差した活動とファンサービスを行い、人気を不動のものとしています。

しかし、選手が活躍すれば、給料が上がり経営を圧迫することから、高給取りのスター選手については契約しないことコストパフォーマンスの悪い選手についてはトレードにより移籍させるなどドライな経営については賛否の分かれるところではありますが、その穴埋めに若い選手もしくは他球団で燻っている選手を登用し、血の入れ替え組織の活性化が常に行われている球団ではないでしょうか。このことから、選手に思い入れのあるファンにとって信頼は置けないかもしれませんが、今ではこの球団の姿勢に理解していて、ぶれない姿勢に人気が減ることはないかと思えます。このぶれない球団の姿勢をつくっているのも、フロントがしっかりしているからかと思えます。北海道移転以降、球団フロントの最高責任者も替っていますが、この姿勢は決して変わっていません。

組織が入替っても、決してぶれないことは球団の信念とマニュアルがしっかりしているからかと思えます。

今の職場において人が替ったことから、仕事にぶれることはないでしょうか？目標はかなり高いかもしれませんが、この姿勢を見習い頑張っていきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月21日(火)

担当者 総務課主査 大友 唱司

おはようございます。総務課及び選挙管理委員会事務局の大友です。

私は、市の公用車の管理と選挙事務を担当しています。

今年の9月に突然、衆議院が解散し、10月22日に衆議院選挙が行われましたが、選挙事務に携わっていただいた皆様のご協力のおかげで、無事選挙を終えることができました。本当にありがとうございました。

さて、今日は公用車の管理業務に携わっていることもあり、日々感じている車の運転について話をしたいと思います。

私は、車の免許取得時や更新時期の講習で交通事故を起こしやすい人と起こさない人がいると言われました。

起こしやすい人は忘れた頃に定期的に何らかの事故を起こすそうでその特徴などの説明を受けましたが、当時はピンときませんでした。

車の運転はその人の性格を表しているとよく言われます。普段物静かな人が車に乗ると、前の車にくっついて煽ったり、無理な追い越しなどで暴走したりします。逆に強面の人が車に乗ると安全運転だったり、スピードを全く出さなかったりという場合もあります。事故を起こすのは性格に関係するのかなと思っていましたが、車を運転してから17年経ち、その答えがわかるようになってきました。

事故を起こさない人は、スピードを出すときは出しても全く起こしません。起こしやすい人は、スピードを出さなくても起こします。それは、先のことを予測しながら運転できるかどうかの違いだと思います。

例えば、信号が右折の矢印になったときに、前方の車がもしかしたら赤信号で突っ込んでくるかもしれないと考えるのか、矢印が出たから発信するのとでは万が一の時に大きな差が出ます。

このように先のことを予測しながら運転する人はまず事故を起こしません。最近の私はこの運転を心がけています。

そして、この運転の考え方は、車の運転だけではなく、私達の仕事においても大切な心構えだと思います。

職場内や市民とのコミュニケーションでも同じです。周りが見えず、自分の意見を押し通して、他人の意見を聞かないなど、この状態では必ずトラブルになったり、孤立してしまいます。周囲の状況を判断し、業務に取り組んでいくことが、よりよい市民対応につながると思います。

最後になりますが、万が一事故を起こしてしまった場合、事故を起こした本人だけではなく、その周りにはいる家族も絶対に不幸になります。私は、家族が車に同乗していて、自分の子供に取り返しがつかないケガをさせてしまうことを想像するだけで胸が痛くなります。

皆さんも通勤や休日などに車を運転する機会があると思いますが、事故を起こしてから後悔することがないように日頃から、十分気をつけて運転しましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月22日(水)  
担当者 職員課主査 榎田 直也

おはようございます。総務部職員課の榎田です。

先日、新任主査職研修を受講いたしました。その研修の講師は名言集を上手に使い、わかりやすく講義をしていただきました。その中でこんな言葉がありました。

「子供は親の言うとおりにならぬ。親のやるとおりになる。」言葉のとおり、子供は親の言うことを聞いて育つのではなく、親の姿を見て育つものであるということです。私は、休みの日によくソファの上で横になって、寒いときには膝掛けに包まってゴロゴロすることがあります。

先日、ふとソファのほうを見てみると、私にそっくりの息子が、私と同じようにソファで膝掛けに包まって、ゴロゴロしている姿がありました。このとき、研修を受けた際の言葉を実感させられました。

それと同時に、子供が自慢できる父親、大人になれるよう、また、子供が将来、私の姿を見て育ち社会で活躍できるように、自分自身を見直さなければならないなと思いました。

そこで、私なりに今すぐにでも実行でき、かつ、子供にも真似をしてほしいなと思うことを考えました。答えは単純ですが、挨拶をきちんとすることと感謝の気持ちを素直に伝えることです。

これはできるかできないかではなく、やるかやらないかの問題です。朝は「おはようございます。」何かをしてもらったときには「ありがとうございます。」この言葉をこれから大切にしていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月24日(金)  
担当者 福祉課主査 新川 吾朗

おはようございます。保健福祉部福祉課の新川です。

新庁舎に移転してから、早いもので半年が経過しました。皆様は、新しい庁舎に慣れましたでしょうか？恥ずかしながら、私はどこに何があるかを完璧には把握できておりません。そんな私ですが、新庁舎に移転してから一番先に覚えた場所があります。それは非常口です。

皆さんは、非常口のマークが日本発祥で、しかも世界的に使用されていることをご存知でしょうか？この非常口のマークは、遠いところからもよく見え、子どもや外国人でもすぐに意味が分かることを条件に一般公募したそうです。デザインの良し悪しもありますが、このとき重要視したのは、災害時に落ち着けるような心理的な効果をはかる実験や、照明のもとや煙の中でどのように見えるかといったテストを繰り返し採用されました。緑色が使われている理由についても、赤色の場合、火災の際に、火事の炎の色に紛れて見えづらくなってしもうからであり、緑色のマークであれば、赤と補色の関係にあるので炎の中でも目立つからだそうです。

さて、このようなデザインの教訓を基に私も市役所職員として、お年寄りから、子どもまで、さらには外国人の方に対しても、わかり易く、丁寧な対応ができるよう心掛けて行きたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月27日(月)

担当者 福祉課主査 棚田 香

おはようございます。保健福祉部福祉課障がい相談担当の棚田です。今年度新設された高齢者・障がい者相談担当も兼務しています。

みなさんは、今日が何の日かご存知ですか？今日、11月27日は「ノーベル賞制定記念日」です。1895年の11月27日、スウェーデンの化学者ノーベルが、自らの発明したダイナマイトで得た富を人類に貢献した人に与えたいという遺言を書きました。ノーベルの死後、ノーベル財団が設立され、1901年にノーベル賞の第1回受賞式が行われました。ノーベルの遺産を元にした基金の利子が、物理学、化学、生理学・医学、文学、平和、経済の6分野に貢献した人に毎年贈られています。

少し話が変わりますが、1921年にノーベル物理学賞を受賞した世紀の大天才「アルバート・アインシュタイン」はその生活ぶりやエピソードから「発達障がい」であったと言われていています。「発達障がい」は、生まれつき脳の情報処理のしくみに違いがある障がいです。最近、テレビなどで取り上げられることも多く、みなさんも耳にする機会があると思います。発達障がいをもつ人は、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手な傾向がある一方、その特性に合ったやり方で生活することができれば本来持っている力がしっかり生かされるようになり、アインシュタインのように優れた能力が発揮される場合もあります。福祉課では、発達障がいをもつ方やそのご家族からの相談を受けることが多くあります。発達障がいをもつ方が、できるだけ早い時期からその方にあった適切なサポートを受けることができるよう、日々の業務にあたっていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月28日(火)  
担当者 高齢者支援課主査 布施 恵太

おはようございます。高齢者支援課主査の布施恵太です。

私は、平成18年に入庁して以来、7年ぶり2度目の人事異動として、高齢者支援課へ配属となり、介護認定用務に従事しています。

これまで経験した教育委員会社会教育課、総務部税務課とは全く異なる環境の中で、畠山主事をはじめとする諸先輩に助けていただきながら、日々の業務に取り組んでいます。

さて、先日ご縁があり、約25年ぶりに、札幌市にあるカトリック北一条教会で日曜ミサに参列させていただきました。

私が過去に通った教会は、白い外壁が印象的であった改築前の北広島教会ですが、それでも昔とは変わってしまった点に気付くことができました。

聖堂を走りまわり、親に叱られる自分のような子どもはおらず、大多数が高齢者の方であり、友人同士あるいはご夫婦で静かに祈られていたことです。

いわゆる、社会の高齢化を集まる人々の変化から実感しました。

しかし、教会自体にもまた変化がありました。

広い聖堂の両脇には液晶パネルを設置し、式の進行に合わせて案内を表示することで、司祭の声が聞き取りにくい高齢者に配慮されていました。

また、札幌景観遺産に指定されている石造りの司祭館が、建築後100年を超えて老朽化したため、新しい司祭館の建築工事が行われていました。

ビジネスなどのシーンでは、「この世に生き残る生き物は、最も力の強いものか。そうではない。最も頭のいいものか。そうでもない。それは、変化に対応できる生き物だ。」というフレーズが使われます。

2000年を超える歴史を持つ団体が、このフレーズを実践し続けていることは、ある意味で当然のことなのかもしれない。

私自身も、様々な環境の変化に自分自身を対応させ、業務に取り組み、市民と向き合っていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月29日(水)  
担当者 保険年金課主査 及川 翔太

おはようございます。保険年金課の及川です。

今日は、私が尊敬する人物について、インターネットのy a h o oで検索してきましたのでご紹介させていただきます。

みなさんは、ダンディ坂野さんを知っていますか。ダンディ坂野さんは1967年に石川県でご生誕され、アイドルになることに憧れ1993年に上京しました。その後、アイドルからお笑い芸人路線に方針転換し、2003年には、「ゲッツ」というネタでブレイクしたお笑い芸人です。

しかし、「ゲッツ」以外のネタはなく、いわゆる「一発屋芸人」と呼ばれていました。

その後、いつ芸能界から消えてもおかしくない状況の中にいる彼ですが、未だに芸人として活躍しています。

最近、TV番組への出演よりも、CMでの出演が多いようです。

「ゲッツ」というシンプルなフレーズがCM向きだったのは、ラッキーだったとは言えます。

しかし、ただラッキーなだけではなく、世間には飽きられているはずの「ゲッツ」を、彼は言い続けたことも、見逃してはいけない大きなポイントだと思います。

他の一発屋芸人たちは新しいギャグを作り出すことに苦心して、失敗しているのとは対照的です。

そんなダンディ坂野さんから、私は「続ける」ことの大切さを学びました。

何かを成し遂げたいなら、まずは続けることです。

そんなことは分かっている、続けることは簡単ではありません。

しかし、続けさえすれば成功を手に入れる確率はぐっと上がると言えます。

ダイエットも資格取得の勉強もそうですよね。

ライザップで成果が出るのも、ダイエットしたい人を管理して続けさせるから成果を出せるのでしょう。

途中で放り出さない限り、それは「失敗」ではありません。だから私は、環境の壁や才能の壁を感じた時に諦めて、将来そのことを悔やむのではなく、粘り強く取り組むことが大事だと思います。昨日の自分より今日、今日より明日へと成長し、北広島市に貢献できる人材になれるように努力していきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年11月30日(木)  
担当者 保育課主査 加藤 梨奈

おはようございます。子育て支援室保育課の加藤です。私は、平成10年に北広島市職員として採用になり、今年で20年目を迎えます。職員の中ではちょうど平均年齢の真ん中でもあり、中堅の職員ということになると思います。ある程度の年齢になって、責任が増してきたと感じていますが、年齢とともに物覚えも悪くなり、至らない自分に落ち込むことが多い毎日です。けれども、上司やスタッフに助けられながら、何とか日々の業務を行っているところです。

さて、私が所属している「子育て支援室」ですが、その名のとおり子育てをしている方を支援するための部署で、私自身小さな子を持つ親であることから、関心がある分野です。「ワーク・ライフ・バランス」と言われるように、仕事と家庭の時間をうまく使ってバランスよく生活することが理想ではありますが、仕事と家庭の両立は本当に難しく、両立どころかどちらも中途半端になっている気がしてなりません。幸い職場環境に恵まれ、子どもが急病などの時も早く休みをいただいたりと、その部分では今まで辛い思いをしたことがありませんが、それは周りの皆さんに配慮していただいているからあり、感謝の気持ちを忘れてはいけないと思っています。職場には、子育て中の方だけでなく、さまざまな家庭の問題を抱えている方もいらっしゃると思います。そういう方に対して、「お互い様」という気持ちで接することが当たり前になれば、心に余裕ができ、きっといい市民対応にもつながるのではと思います。困ったときは助け合い、みんなが働きやすい職場、そして世の中になることを願っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。